

ディプロマ・ポリシー 〈卒業認定・学位授与の方針〉

サービス経営学部では、所定の期間在学のうえ卒業要件となる単位を修得し、以下の能力を有する者に学士(サービス経営学)の学位を授与します。

1 ホスピタリティ精神

a. 多様性の理解と他者の受容

多様性の存在とその意義を理解するとともに、自己と異なる他者を分け隔てなく受け入れることができる。

b. 他者との相互信頼関係の構築

誠実な言動により、他者と相互信頼関係を構築することができる。

c. 利他的精神

損得勘定を持たずに、思いやりの心をもって他者に利する行為をすることができる。

d. 奉仕的精神

自らの意志で進んで社会に利する行為をすることができる。

e. 包摂性の実践

自ら進んで異なる他者に歩み寄り、異なる文化・価値観・意見・視野等を取り入れながら、持続的で一人も取り残されない包括的な社会の実現に向けて行動できる。

2 市民としての社会的責任

a. 社会の一員としての意識

社会の一員としての高い意識に基づいた行動をとっている。

b. より良い未来の創造への貢献

大学で修得した専門性を中心とする多様な力を活用して地域社会や国際社会に貢献できる。

c. より良い未来の創造のための行動力

大学で修得した専門性を中心とする多様な力を活用して未来の創造への積極的関与のために行動できる。

3 学び続ける力

a. 学びの意義の理解

学びの意義や面白さを知っている。

b. 学び方・学びの接近方法・学びのフレームの獲得と適用

自主的・協働的な学び方、学びの接近方法、学びのフレームを獲得し、適用できる。

c. 社会の変化への視野と対応方法の獲得

社会の変化への視野と対応方法を獲得している。

d. 生涯に渡る自らのキャリア形成を含む、人生の目標の自覚

人生の目標に向かって努力実践できる。

4 汎用的技能

a. コミュニケーション・スキル

日本語を用いて、知的活動、職業活動、社会活動に十分なレベルで読み、書き、聞き、話すことができる。

b. 数量的スキル

自然や社会の事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現できる。

c. 情報メディア・リテラシー

情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を適切に収集・分析して適正に判断するとともにモラルに則って効果的に活用できる。

d. 論理的思考力

情報や知識を、複眼的、論理的に思考できる。

e. 課題発見・解決力

問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。

5 豊かで確かな知識・理解に基づく柔軟で豊かな人間性

a. 知の営みの構造の理解

知識をどのように入手し、どのように創造していくか、という知の営みの構造を理解している。

b. 普遍的な知識と自己の存在に対する理解

普遍的な知識を修得し、自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解している。

c. サービス経営学の理論体系と普遍的な知識との総合による応用能力

サービス経営学の学問内容を体系的に理解し、普遍的な知識と総合して、これらの知識を知的生活、職業生活、社会生活において応用できる。

6 ホスピタリティ精神に基づく協調的主体性(未来創造的コンピテンシー)

a. 自己管理・デザイン能力

目標意識と高い意欲を持ちながら、自らの時間、健康、感情、人生を管理・デザインできる。

b. 協働性(チームワーク力)

グループの目標達成過程において他のメンバーと協働しながら自らの役割を果たすことにより、グループをチームに変えることができる。

c. 率先力(リーダーシップ)

メンバーの自己肯定感を高めてやる気を引き出し、グループを形成・維持・修正・発展させ、グループの目標を達成することに導くことができる。

d. 倫理観

社会の規範やルールによって自らを律し、人として守らなければならない善悪の基準に従って行動できる。

7 未来創造的思考力

a. 批判的思考力

批判的思考によって社会やサービスに関する多様な課題を整理して問題の本質を発見できる。

b. 分析力

批判的思考に基づく分析によって社会やサービスに関する多様な課題を整理して問題の本質を発見することができる。

c. 評価力

批判的思考に基づく分析・評価によって社会やサービスに関する多様な課題を整理して問題の本質を発見し、それらの解決に近づくことができる。

d. 判断能力

批判的思考に基づく分析・評価・判断能力によって適正に行動できる。

e. 独創性

批判的思考に基づく分析・評価・判断能力によって社会やサービスに関する多様な課題を整理して問題の本質を発見し、それらを解決するために独創的に思考できる。